

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	1学年21名		こくご☆☆ しまくとうば読本

年間目標			(知及技) 知識及び技能	日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。(中1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(中1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉が持つ良さに気付くと共に言語感覚を養い国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(中1段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	6	(知及技) 長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方や書き方ができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 相手や目的に応じて、話す速さや声の大きさなどに気をつけて話すことができる。(中1段階 Aエ) (学・人) 相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとする態度を養う。	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音の読み方や書き方を知り、正しく使おうとしている。 (思・判・表) 相手や目的に応じて、話す速さや声の大きさなどに気をつけて話そうとしている。 (主学) 相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとしている。	・自己紹介をしよう ・新しい仲間、教師と学ぼう ・教科名の読み書き ・図書室オリエンテーション 教科書☆☆☆ P6「かんげいかい」 P20・56・82～93「ひらがな、カタカナ、かんじをよもう・かこう」	・目標、自己紹介を書いて、皆の前で発表する。 ・教師の名前をひらがな、カタカナ、漢字で読み書きをする。 ・教科名を漢字で読み書きする。 ・身近にある物の名前や数え方を漢字で読み書きする。	美術「自分のイメージを表現しよう」 外国語「友達に自己紹介しよう」
	5月	9	(知及技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解し活用することができる。(中1段階 ア(オ)) (思判表力) 他者との話などを見聞きして、聞いたことを書き留めたり分らないことを聞き返したりすることができる。(中1段階 Aウ) (学・人) 文の構成や表現、語句の使い方に気を付けて書く意識を持つ。	(知・技) 主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解し活用しようとしている。 (思・判・表) 他者との話などを見聞きして、聞いたことを書き留めたり分らないことを聞き返そうとしている。(主学) 文の構成や表現、語句の使い方に気を付けて書こうとしている。	・ゴールデンウィークの思い出を書こう ・文法「主語と述語」 ・「かいものをしよう」 ・「でんわをとろう」 P6「たのしかったえん足」 P94～103「文をかこう、絵につきをかこう」 P16「かいもの」 P18「でんわ」 P94「主語と述語」	・いつ、だれと、どこに行ったかを振り返り、楽しかったことを書く。 ・主語と述語の違いを理解する。 ・買い物に必要なやりとりを学習する。 ・電話の対応の仕方を考え、実践する。	外国語「好きな教科ややりたい職業」
	6月	10	(知及技) 情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読ができる。(中1段階 ア(イ、キ)) (思判表力) 様々な文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階 Cアイウエ) (学・人) 平和に関する詩や本を読み、平和について考える意識を育む。	(知・技) 情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読しようとしている。 (思・判・表) 様々な文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像しようとしている。 (主学) 平和に関する詩や本を読み、平和について考えようとしている。	・平和について考えよう ・いろいろな文章 P34～43「わらべうた」「のりもの」「はな」「さつまいも」	・平和に関する詩や本を読み、感想を発表する。 平和メッセージを書く。 ・小唄や紹介文、物語などを読み、感じたことを発表し合う。	社会「平和について」 音楽「平和学習うた」 美術「平和への願い～鑑賞・製作」
	7月	10	(知及技) 筆遣いの基本を学び、文字の形に注意して丁寧に書くことができる。(中1段階 ウ(ウ)) (思判表力) 暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。(中1段階 Bアイウ) (学・人) 筆の持ち方や姿勢を正し、「ハネ」「トメ」を意識して書く態度を養う。	(知・技) 筆遣いの基本を学び、文字の形に注意して丁寧に書こうとしている。 (思・判・表) 暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書こうとしている。 (主学) 筆の持ち方や姿勢を正し、「ハネ」「トメ」を意識して書こうとしている。	・季節の便り(暑中見舞い) ・書道の基礎を学ぼう ・1学期の振り返り P104「手がみをかこう」	・葉書の基本的な書き方を学び、相手や自分の住所、氏名を丁寧に書く。 ・書道用具の名称を知り、基本的な筆遣いを学ぶ。 ・1学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	理科「身の回りの生物」

2 学 期	9月	10	(知及技) 読書に親しむことで、様々なジャンルの本があることを知る。(中Ⅰ段階ウ(エ)) (思判表力) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表する。(中Ⅰ段階Bアイウ Cアエ) (学・人) 身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとする態度を育む。	(知・技) 読書に親しもうとしている。 (思・判・表) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表しようとしている。 (主学) 身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとしている。	・夏休みの思い出と宿題の見直し ・読書月間の取り組み ・しまくとうばに親しもう P40～41「本をさがそう」 しまくとうば読本	・夏休みの思い出(日記等)を発表する。間違った問題を見直し復習する。 ・図書室のマナーを守りいろいろな本に触れる。本の紹介カードを作成したり、感想文を書いて発表する。 ・「しまくとうば読本」を活用し、沖縄方言で挨拶、身近な方言に触れる。	美術「地域の伝統工芸」 体育「エイサー・空手・琉球舞踊」
	10月	13	(知及技) 似ている文字に留意して、カタカナの言葉を正しく読み書きすることができる。(中Ⅰ段階ア(エ)) (思判表力) 物語を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中Ⅰ段階Cアエ Bアイウ) (学・人) 身の回りにある物からカタカナで呼ばれる物を探そうとする意識を持つ。	(知・技) 似ている文字に留意して、カタカナの言葉を正しく読み書きしようとしている。(思・判・表) 物語を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。 (主学) 身の回りにある物からカタカナで呼ばれる物を探そうとしている。	・舞台祭に向けて ・文章読解(物語) ・「かたかなをさがそう」 P46～53「おじいさんとねずみ」のおはなし P66～81「プレーメンの町のおはなし」 P54～59「かたかなをよもう」「かたかなをさがそう」	・物語などを感情を込めて朗読する。登場人物の気持ちを考えたり、場面をイメージすることで内容を押さえる。 ・身の回りにあるカタカナで呼ばれる物を探し、発表する。	音楽「合奏しようⅠ」
	11月	13	(知及技) 物や状況に応じた様々なオノマトベを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中Ⅰ段階ア(ウ)ウ(ウ)) (思判表力) 目的に応じた適切な言葉を考え、発表することができる。(中Ⅰ段階Aアイウ Bアイウエ) (学・人) 舞台祭で自身の努力や活躍を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 物や状況に応じた様々なオノマトベを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 目的に応じた適切な言葉を考え、発表しようとしている。 (主学) 舞台祭で自身の努力や活躍を振り返ろうとしている。	・舞台祭に向けて ・「パーティーをしよう」 ・文章表現(オノマトベ) ・舞台祭を終えて P64「パーティーをしよう」	・ア行、カ行……の語を用いた言葉をあてはめて文章を組み立てる。 ・様々なオノマトベ(擬音語、擬声語、擬態語)を学び、文章で表現する。 ・舞台祭について、どのように頑張ったのかを振り返る。	音楽「お話の音楽を作ろう」
	12月	9	(知及技) 姿勢を正し、文字の形に注意して丁寧に書くことができる。(中Ⅰ段階ウ(ウ)) (思判表力) 新年の挨拶や伝えたいことを考え丁寧に書くことができる。(中Ⅰ段階Bアイウ) (学・人) 2学期の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 姿勢を正し、文字の形に注意して丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 新年の挨拶や伝えたいことを考え丁寧に書くことができる。 (主学) 2学期の活動内容を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・季節の便り(年賀状) ・「かん字をよもう・かこう」 ・2学期の振り返り P104「手がみをかこう」 P90～93「かん字をよもう・かこう」	・年賀葉書の書き方の基本や新年の挨拶、十二支について学び、お世話になった方へ年賀状を書く。 ・日常で使う簡単な漢字読み書きをする。 ・2学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	美術「新年にむけて」
3 学 期	1月	9	(知及技) 筆遣いの基本を学び、文字の形に注意して丁寧に書くことができる。(中Ⅰ段階ウ(ウ)) (思判表力) 校内実習や愛汗祭での取り組みを振り返り、感想をまとめて発表することができる。(中Ⅰ段階Aアイウ Bアイウエ) (学・人) 自分の思いや考えを素直に表現しようとしている。	(知・技) 筆遣いの基本を学び、文字の形に注意して丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 校内実習や愛汗祭での取り組みを振り返り、感想をまとめて発表しようとしている。 (主学) 自分の思いや考えを素直に表現しようとしている。	・新年の挨拶、正月遊びいろいろ ・書道 ・愛汗祭の感想 P90～93「かん字をよもう・かこう」	・新年の挨拶を交わし抱負を発表することで気持ちを引き締める。日本の伝統文化としての正月遊びを挙げ、カルタを楽しむ。 ・書き初めにふさわしい文字を選び、基本的な筆遣いに留意して作品を仕上げる。 ・愛汗祭の取り組みを振り返り感想をまとめて発表する。	外国語「日本のお正月と外国のお正月」

2月	10	（知・技）日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方ができる。（中Ⅰ段階 ア(ウエ)） （思・判・表）見聞きしたことを事柄の順序に沿って、語句の使い方に気を付けて書くことができる。（中Ⅰ段階 B(アイウ)） （学・人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、物の数え方や言葉の使い方などに関心を持ち、親しもうとしている。	（知・技）日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方をしようとしている。（思・判・表）見聞きしたことを事柄の順序に沿って、語句の使い方に気を付けて書くようとしている。（主学）生活の中で身近に使われている言葉を知り、物の数え方や言葉の使い方などに関心を持ち、親しもうとしている。	・文章表現「助数詞」 ・P95～103「文をかこう」「えにっきをかこう」	・日常で使っている基本的な助数詞を考え、正しい使い方を学び、読んだり書いたりする。 ・絵や写真を見て、何をしているのか簡潔な文章で表現する。	職業・家庭「情報機器の活用」
3月	8	（知・技）お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えることができる。（中Ⅰ段階 ア(ウエカ) ウ(ウ)） （思・判・表）1年間の学習を振り返り、どのようなことを学び、何ができるようになったのかなど、書く内容を整理し発表することができる。（中Ⅰ段階 A(アイウエ B(アイエ)） （学・人）1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	（知・技）お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えようとしている。（思・判・表）1年間の学習を振り返り、どのようなことを学び、何ができるようになったのかなど、書く内容を明確にし発表しようとしている。（主学）1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・「手がみをかこう」 ・1年の振り返りをしよう P104「手がみをかこう」	・お世話になった先生に感謝の言葉を添えて手紙を書く。 ・学習したことを振り返り、学習したプリントをまとめたり、作文を書いて発表したりする。	社会、理科、音楽、美術、外国語「1年間のまとめ」
留意点 引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況 ・単元テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	1学年 12名		こくご☆☆

年間目標		(知及技) 知識及び技能		日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。(小3段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(小3段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		言葉が持つ良さに気付くと共に言語感覚を養い国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)			
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	8	(知及技) 長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方や書き方ができる。(中1段階ア(ウ)) (思判表力) 自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階 Bイ) (学・人) 音声や身振りなどで相手に伝えようとしている。	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音の読み方や書き方を知り、正しく使おうとしている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 音声や身振りなどで相手に伝えようとしている。	・自己紹介 ・先生の名前や教科の名前 ・身近にある物の名前や数え方① ・学校生活や係活動 教科書☆☆ P6「がっこうせいかつ」 P28「なまえなあんだ①」 P52「あつめてみよう①」 P48「かいてみよう」 P76「ひらがなをよんでみよう」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・なまえ、じこしょうかい	・自己紹介カードを作成し発表する。 ・先生の名前や教科名を読み書きする。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。 ・学校生活のイラストを見て何をしているのか、何の係活動しているのか考える。	社会「学習場所やメンバーを確認しよう」 外国語「友達に英語で自己紹介しよう」
	5月	9	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(小3段階 ウ(イ)) (思判表力) 見聞きしたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3段階 Bウ) (学・人) 思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めようとする。	(知・技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 見聞きしたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 (主学) 思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めたりしようとしている。	・ゴールデンウィークの思い出 ・お母さんありがとう ・何しているのかな ・身近にある物の名前や数え方② P12「おはなしできるかな」 P28「なまえなあんだ②」 P52「あつめてみよう②」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・えにつき ・カード	・いつ、だれと、どこに行ったかを振り返り、楽しかったことなどをプリントにまとめて発表する。 ・母の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・イラストを見て何をしているのか考えて発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	道徳科「まわりの人を考えて」「家族のあたたかさ」
	6月	10	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(小3段階 ウ(ウ)) (思判表力) イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現することができる。(小3段階 Aウ) (学・人) 平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考える意識を育む。	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くようとしている。 (思・判・表) イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現しようとしている。 (主学) 平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考えようとしている。	・どんな気持ちかな ・お父さんありがとう ・平和について考えよう 「慰霊の日に向けて」 「平和って何？」 P20「どんなきもちかな」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・カード	・言葉やイラストを見てどんな気持ちか考える。 ・父の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・平和に関する絵本や動画を見聞きし、感想をまとめて発表する。平和メッセージを書く。	社会「平和学習」 音楽「平和の歌」 美術「平和を感じよう」
	7月	9	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。(小3段階 ア(イウカ)) (思判表力) 暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。(中1段階 Bアイウ) (学・人) 相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くこととする態度を養う。	(知・技) 姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読もうとしている。 (思・判・表) 暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書こうとしている。 (主学) 相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くこととしている。	・季節の便り(暑中見舞い) ・身近にある物の名前や数え方③ P28「なまえなあんだ③」 P52「あつめてみよう③」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	美術「はがきにかこう」 社会「路線バスを活用しよう」

2 学 期	9月	11	(知及技) 図書室のマナーを守り読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つことができる。(小3段階 ウ(エ)) (思判表力) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表する。(小3段階 Bアイウ Cアエ) (学・人) 身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うとする態度を育む。	(知・技) 図書室のマナーを守り読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つようとしている。 (思・判・表) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表しようとしている。 (主学) 身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うようとしている。	・夏休みの思い出 ・おすすめ本の紹介をしよう① (読書月間の取り組み) ・しまくとうばに親しもう	・夏休みの思い出(日記等)を発表する。 ・図書室のマナーを守りいろいろな本に触れる。 本の紹介カードを作成したり感想文を書く。 ・沖縄方言で挨拶や身近な方言に触れる。「うちなーかぞえた」を聞いて生き物の名称や数え方を学ぶ。	社会「沖縄の伝統文化を体験しよう」 美術「沖縄の伝統文化を学ぼう」
	10月	11	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。(小3段階 ア(イウカ)) (思判表力) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(小3段階 Cアイエ) (学・人) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとする態度を養う。	(知・技) 姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むようとしている。 (思・判・表) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとしている。	・舞台祭に向けて ・おすすめの本を紹介しよう② ・お話発表 ・身近にある物の名前や数え方④ P24「おおきなだいこん」 P70「うさぎとかめ」 P28「なまえなあんだ④」 P52「あつめてみよう④」	・おすすめの本の紹介カードや感想文を発表する。 ・グループで役割を決めて昔話などを発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	音楽「楽器を演奏しよう」
	11月	11	(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。(小2段階ウ) (思判表力) 舞台祭を振り返り、関係する言葉を使って、発表内容を考えることができる。(小2段階 Aウ) (学・人) 舞台祭を振り返り、関係する言葉を学ぼうとしている。	(知・技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れるようとしている。 (思・判・表) 舞台祭を振り返り、関係する言葉を使って、発表内容を考えることができる。 (主学) 舞台祭を振り返り、関係する言葉を学ぼうとしている。	・舞台祭に向けて ・舞台祭を振り返り、感想を発表しよう。	・舞台祭について、どんなキーワードが出てきたかを挙げるができる。 ・舞台祭を振り返り、感想を発表する。	全教科「舞台祭に向けて」
	12月	9	(知及技) 物や状況に応じた様々なオノマトペを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3段階 ア(ウエ)) (思判表力) 新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。(中1段階 Bアイウ) (学・人) 状況や目的に適したオノマトペや言葉を考えようとする態度を育む。	(知・技) 物や状況に応じた様々なオノマトペを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書こうとしている。 (主学) 状況や目的に適したオノマトペや言葉を考えようとしている。	・季節の便り(年賀状) ・いろいろな音(動物の鳴き声、オノマトペなど) P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・人や動物が発する音(擬声語)や事物や事象の音(擬音語)、状態や身振りなどの様子を例えた音(擬態語)を考える。	美術「はがきにかこう」 社会「地域について調べよう」
	1月	9	(知及技) 十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3段階 ウ(ア)) (思判表力) (思・判・表) 校内実習や愛汗祭について、感想を抱き、発表しようとしている。(小2段階Aウ) (学・人) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとする態度を養う。	(知・技) 十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 校内実習や愛汗祭について、感想を抱き、発表しようとしている。 (主学) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとしている。	・新年の挨拶、お正月の風習に関する言葉 ・今年の干支(十二支) ・愛汗祭の感想を発表しよう。	・新年の挨拶を交わし、抱負を発表する。お正月としての風習や食べもの、遊びなどを挙げ、日本の伝統文化に触れる。 ・十二支に関する絵本や歌を見聞きし、今年の干支や自身の干支を知る。 ・愛汗祭りを振り返り、感想を発表する。	美術「正月遊び」 外国語「日本のお正月と外国のお正月」

3 学期	2月	9	(知及技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方ができる。(中1段階 ア(ウエ)) (思判表力) 学んだことを使って、短文を書こうとしている。(小3段階Bイ) (学・人) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方をしようとしている。 (思・判・表) 学んだ言葉を使って、文を書こうとしている。 (主学) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとしている。	・身近にある物の名前や数え方⑤ P28「なまえなあんだ⑤」 P52「あつめてみよう⑤」	・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。 ・身近にある物の名前や数え方を生かして、短文を作ることができる。	職業・家庭「ものづくり2」
	3月	9	(知及技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えることができる。(中1段階 ア(ウエカ) ウ(ウ)) (思判表力) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話そうとすることができる。(小2段階 Aイウオ Bアイウ) (学・人) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えようとしている。 (思・判・表) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話そうとしている。 (主学) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・お礼の言葉(カード作り) ・1年の振り返りをしよう P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ ・カード	・誰に、どのようなお礼の手紙を書くのか考える。 ・1年間に取り組んだプリントを中心に振り返り学習をする。 ・写真等を参考に活動内容を再確認し、感想をまとめ発表する。	音楽「卒業の歌」
留意点 引継等							
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 15名		国語☆☆☆☆／しまくとうば読本

年間目標		(知及技) 知識及び技能	日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。(中1～2段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(中1～2段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(中1～2段階)				
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	8	(知及技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使うことができる。(中2段階ア(ウ)) (思判表力) 相手や目的に応じて、話す速さや声の大きさなどに気をつけて話すことができる。(中1段階 Aエ) (学・人)相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとする意識を養う。	(知・技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使おうとしている。 (思・判・表) 相手や目的に応じて、話す速さや声の大きさなどに気をつけて話そうとしている。 (主学)相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとしている。	・自己紹介をしよう ・新しい仲間、教師と学ぼう ・教科名の読み書き ・詩「ただいるだけで」 ・図書室オリエンテーション 教科書☆☆☆☆ P2「詩 ただいるだけで」	・目標、自己紹介を書いて、皆の前で発表する。 ・教師の名前をひらがな、カタカナ、漢字で読み書きをする。 ・教科名を漢字で読み書きする。 ・声量や抑揚などに気をつけて詩の朗読をする。また、詩の内容で気になる言葉や感想を発表する。	美術「自分のイメージを表現しよう」 外国語「友達に自己紹介しよう」
	5月	9	(知及技)敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら話したり書いたりすることができる。(中2段階 ア(カ)) (思判表力) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えることができる。(中1段階A聞くこと・話すことア) (学・人) 言葉の意味を考え、文章を書いたり、伝えようとしたりする態度を養う。	(知・技) 敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら話したり書いたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉の意味を考え、文章を書いたり、伝えようとしたりする態度を養う。	・ゴールデンウィークの思い出 ・聞き取り書き ・電話の応対 ・類義語・対義語 P8「ペンギンショーを見に行こう」 P14「電話を使って伝えよう」 P16～21「書いてみよう!」 「声を出して読んでみよう」 「言葉の意味」「仲間の言葉」	・体験したことなどについて、5W1Hを踏まえ、感想を交えて表現する。 ・聞いたことをメモを取ったり書き留めたりして、分からないところは聞き返す。 ・言葉の意味を考えて、使い分ける。	外国語「好きな教科ややりたい職業」
	6月	10	(知及技)昔の小話や、自然や季節などを表した紀行文などがあることを知るができる。(中1段階ウ(エ)) (思判表力)様々な文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像することができる。(中2段階 Cアイウエ) (学・人)平和に関する詩や本を読み、平和について考える意識を育む。	(知・技)昔の小話や、自然や季節などを表した紀行文などがあることを知ろうとしている。 (思・判・表)様々な文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像しようとしている。 (主学)平和に関する詩や本を読み、平和について考えようとしている。	・平和について考えよう ・いろいろな文章 P22「日本を旅して」 P28「江戸小話」	・教科書の写真を見ながら文章を読み、自然や季節などの美しさを表した紀行文について知る。 ・小話の内容を捉え、どこがおもしろいのかを考える。 ・平和に関する詩や本を読み、戦争がなぜいけないのか、平和とは何かにについて考える。平和メッセージを書く。	社会「平和について」 音楽「平和学習うた」 美術「平和への願い～鑑賞・製作」

	7月	9	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中Ⅰ段階ウ(イ)) (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気をつけて書くことができる。(中Ⅰ段階Bイウエ) (学・人) 暑中見舞いの作成や書道に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 文の構成、語句の使い方に気をつけて書くこととしている。 (主学) 暑中見舞いの作成や書道に意欲的に取り組もうとしている。	・季節の挨拶 (暑中見舞い) ・書道に親しもう ・1学期の振り返り P92「主語と述語」「書いてみよう②」	・基本的な葉書の書き方を学び、挨拶文を考え、丁寧に仕上げる。 ・書きたい文字を選び、文字のバランスや運筆に留意して書き、作品を仕上げる。 ・2学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	理科「季節と生物」
	9月	11	(知及技) 読書に親しむことで、様々なジャンルの本があることを知る。(中Ⅰ段階ウ(エ)) (思判表力) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表する。(中Ⅰ段階Bアイウ Cアエ) (学・人) 身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとする態度を育む。	(知・技) 読書に親しみ、様々なジャンルの本があることを知ろうとしている。 (思・判・表) おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表しようとしている。 (主学) 身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとしている。	・夏休みの思い出と宿題の見直し ・読書月間の取り組み ・しまくとうばに親しもう P12「作品をしようかいしよう」 P27「本に親しもう」 しまくとうば読本	・夏休みの思い出(日記等)を発表する。間違った問題を見直し復習する。 ・図書室のマナーを守りいろいろな本に触れる。本の紹介カードを作成したり、感想文を書いて発表する。 ・「しまくとうば読本」を活用し、沖縄方言で挨拶、身近な方言に触れる。	美術「地域の伝統工芸」 体育「エイサー・空手・琉球舞踊」
	10月	11	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた詩や易しい文語調の俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ音読することができる。(中Ⅰ段階ア(キ)) (思判表力) 様々な読み物を読み、日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取ることができる。(中Ⅱ段階Cアイウエ) (学・人) 詩歌のイメージを膨らませたり、作者の思いを感じ取ろうとする態度を育む。	(知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた詩や易しい文語調の俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ音読しようとしている。 (思・判・表) 様々な読み物を読み、日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取ろうとしている。 (主学) 詩歌のイメージを膨らませたり、作者の思いを感じ取ろうとしている。	・舞台祭に向けて ・俳句、詩 ・標識や看板 ・いろいろな文章(文章読解) P32～45「俳句」「詩」「いろいろな標識・表示」 P46～57「水道水ができるまで」「点字の話」	・言葉のイメージをふくらませ、定型または自由な詩や俳句などの言葉のリズムを味わう。 ・日常生活でよく見る標識や表示について注目し、意味を確認する。	音楽「お話の音楽を作ろう」
2学期	11月	11	(知及技) 情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読ができる。(中Ⅱ段階ア(イ、キ)) (思判表力) 易しい物語などを読み、情景や場面、心情などを想像し感想を発表することができる。(中Ⅰ段階Cアイエ) (学・人) 舞台祭で自身の努力や活躍を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読しようとしている。 (思・判・表) 易しい物語などを読み、情景や場面、心情などを想像し感想を発表しようとしている。 (主学) 舞台祭での自身の努力や活躍を振り返ろうとしている。	・舞台祭に向けて ・いろいろな文章(文章読解) ・舞台祭を終えて P68「自動車の今昔」 P54「オオカミと羊飼」 P74「わらしべ長者」	・様々な文章を読み、筆者が伝えたいことや登場人物の心情を捉えたり、場面や情景などをイメージする。 ・舞台祭について、どのように頑張ったか、結果どうだったのかを振り返る。	英語「情報を整理し、表現したり、伝え合ったりすること」

	12月	9	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、目的に応じて使うことができる。(中2段階 ア(エ)) (思判表力)新年の挨拶や伝えたいことを考え丁寧に書くことができる。(中2段階 B アイウ) (学・人)2学期の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、目的に応じて使うことができる。 (思・判・表)新年の挨拶や伝えたいことを考え丁寧に書くようとしている。 (主学)2学期の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・季節の便り(年賀状) ・2学期の振り返り p92「言葉のページ 主語と述語」	・年賀葉書の書き方の基本や新年の挨拶について学び、お世話になった方へ年賀状を書く。 ・語句と語句のつながりや主語と述語の関係を考えて書く。また、書いたものを読み返して間違いを正す。 ・2学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	美術「新年にむけて」
	1月	9	(知及技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。(中2段階 ウ(ウ)) (思判表力)愛汗祭での出来事や感想を順序立てて書き、適切な声量や態度で発表することができる。(中1段階 A イウエ B アイウエ)) (学・人)新年の挨拶やカルタ遊びを通して正月の雰囲気を楽しむ。	(知・技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くようとしている。 (思・判・表)愛汗祭での出来事や感想を順序立てて書き、適切な声量や態度で発表しようとしている。 (主学)新年の挨拶やカルタ遊びを通して正月の雰囲気を味わおうとしている。	・新年の挨拶、正月遊びいろいろ ・書道 ・物語(十二支) ・愛汗祭の感想 p93「言葉のページ 書いてみよう②」	・新年の挨拶を交わし抱負を発表することで気持ちを引き締める。日本の伝統文化としての正月遊びを挙げ、カルタを楽しむ。 ・十二支の由来を学ぶ。 ・書き初めにふさわしい文字を選び、基本的な筆遣いや書く時の姿勢などにも留意して作品を仕上げる。 ・校内実習から愛汗祭までの出来事などを振り返り文章にまとめ発表する。	外国語「日本のお正月と外国のお正月」
3学期	2月	9	(知及技)言葉には、語句が結びつくことで特定の意味を表す言葉や古くから言い伝えられてきた教訓を表す言葉があることを知ることができる。(中1段階 ア(アエ)) (思判表力)経験したことなどについて、順序や内容を整理して言葉や文で表すことができる。(中1段階 B イ、エ) (学・人)自分の伝えたいことが相手に分かりやすくなるように、工夫して書くようとしている。	(知・技)言葉には、語句が結びつくことで特定の意味を表す言葉や古くから言い伝えられてきた教訓を表す言葉があることを知ろうとしている。 (思・判・表)経験したことなどについて、順序や内容を整理して言葉や文で表そうとしている。 (主学)自分の伝えたいことが相手に分かりやすくなるように、工夫して書くようとしている。	・ことわざ、慣用句 P58「ねぼうしたねこ」 P110「ローマ字」 P94～105「山の家に行って」「順序よく書く」「伝わりやすくなるように書く」	・ことわざや慣用句の違いや意味を知り、場に応じて使う。 ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って構成を考える。 ・文章に対する感想を持ち、伝え合うことができる。	職業・家庭「情報機器の活用」
	3月	9	(知及技)お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に表現することができる。(中2段階 ア(ウエカ) ウ(ウ)) (思判表力)自分の将来をイメージし、なぜそうなりたいかを順序立て簡潔に書き発表することができる。(中2段階 A イウエ B イ) (学・人)1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技)お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に表現しようとしている。 (思・判・表)自分の将来をイメージし、なぜそうなりたいかを順序立て簡潔に書き発表しようとしている。 (主学)一年間を振り返り、自分の夢を考えようとしている。	・将来を考えよう ・手紙を書く ・1年の振り返りをしよう P86「手紙を書く」 P106「自分の夢をはなそう」	・自分の将来をイメージし、なぜそうなりたいか考える。 ・お世話になった先生に感謝の言葉を添えて手紙を書く。 ・1年間の学習を振り返り、文法や文章表現、文章読解などの復習をする。感想を書いて発表する。	社会、理科、音楽、美術、外国語「1年間のまとめ」
留意点 引継等							
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業に対する取組姿勢 ・単元テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	2学年 11名		こくご☆☆

年間目標			（知及技）知識及び技能	日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。（小3段階）			
			（思判表力）思考力、判断力、表現力等	日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（小3段階）			
			（学・人）学びに向かう力、人間性	言葉が持つ良さに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。（小3段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 （三つの柱）	単元・題材の評価規準 （三観点）	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	8	（知及技）長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方や書き方ができる。（中1段階アウ） （思判表力）自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりすることができる。（小2段階 Bイ） （学・人）音声や身振りなどで相手に伝えようとしたり、他者の発表を集中して聞こうとする態度を養う。	（知・技）長音、拗音、促音、撥音の読み方や書き方を知り、正しく使おうとしている。 （思・判・表）自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 （主学）音声や身振りなどで相手に伝えようとしたり、他者の発表を集中して聞こうとしている。	・自己紹介 ・先生の名前や教科の名前 ・身近にある物の名前や数え方① ・学校生活や係活動 教科書☆☆ P 6 「がっこうせいかつ」 P28 「なまえなあんだ①」 P52 「あつめてみよう①」 P48 「かいてみよう」 P76 「ひらがなをよんでみよう」 P92 「ひらがなをかいてみよう」 ・なまえ、じこしょうかい	・自己紹介カードを作成し発表する。 ・先生の名前や教科名を読み書きする。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。 ・学校生活のイラストを見て何をしているのか、何の係活動しているのかを考える。	外国語「友達に英語で自己紹介しよう」
	5月	9	（知及技）出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。（小3段階 ウイ） （思判表力）見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くことができる。（小3段階 Bウ） （学・人）思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	（知・技）出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 （思・判・表）見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 （主学）思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めたりしようとしている。	・ゴールデンウィークの思い出 ・お母さんありがとう ・何しているのかな ・身近にある物の名前や数え方② P12 「おはなしできるかな」 P28 「なまえなあんだ②」 P52 「あつめてみよう②」 P92 「ひらがなをかいてみよう」 ・えにっき ・カード	・いつ、だれと、どこに行ったかを振り返り、楽しかったことなどをプリントにまとめて発表する。 ・母の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・イラストを見て何をしているのか考えて発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	理科「身の回りの生物」 美術「語彙を広げよう～画材や色の名前」
	6月	10	（知及技）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（小3段階 ウウ） （思判表力）イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現することができる。（小3段階 Aウ） （学・人）平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考える意識を育む。	（知・技）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くようとしている。 （思・判・表）イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現しようとしている。 （主学）平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考えようとしている。	・どんな気持ちかな ・お父さんありがとう ・平和について考えよう 「慰霊の日に向けて」 「平和って何？」 P20 「どんなきもちかな」 P92 「ひらがなをかいてみよう」 ・カード	・言葉やイラストを見てどんな気持ちか考える。 ・父の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・平和に関する絵本や動画を見聞きし、感想をまとめて発表する。平和メッセージを書く。	社会「平和学習」 音楽「平和の歌」 美術「平和を感じよう」

	7月	9	（知及技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。（小3段階 ア(イウカ)） （思判表力）暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。（中1段階 Bアイウ） （学・人）相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くこととする態度を養う。	（知・技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むこととしている。 （思・判・表）暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くこととしている。（主学）相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くこととしている。	・季節の便り（暑中見舞い） ・身近にある物の名前や数え方③ P28「なまえなあんだ③」 P52「あつめてみよう③」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	美術「はがきにかこう」 社会「路線バスを活用しよう」
	9月	11	（知及技）読書や読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つことができる。（小3段階 ウ(エ)） （思判表力）おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめて発表する。（小3段階 Bアイウ Cアエ） （学・人）身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うこととする態度を育む。	（知・技）読書や読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つこととしている。 （思・判・表）おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめて発表しようとしている。 （主学）身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うこととしている。	・夏休みの思い出 ・おすすめ本の紹介をしよう① （読書月間の取り組み） ・しまくとうばに親しもう	・夏休みの思い出（日記等）を発表する。 ・図書館に様々な本があるということを学ぶ。 ・読み聞かせに親しむ。 ・沖縄方言で挨拶や身近な方言に触れる。「うちなーかぞえうた」を聞いて生き物の名称や数え方を学ぶ。	社会「沖縄の伝統文化を体験しよう」 美術「沖縄の伝統文化を学ぼう」
	10月	11	（知及技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。（小3段階 ア(イウカ)） （思判表力）登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。（小3段階 Cアイエ） （学・人）身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとする態度を養う。	（知・技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むこととしている。 （思・判・表）登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。（主学）身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとしている。	・舞台祭に向けて ・おすすめの本を紹介しよう② ・お話発表 ・身近にある物の名前や数え方④ P24「おおきなだいこん」 P70「うさぎとかめ」 P28「なまえなあんだ④」 P52「あつめてみよう④」	・おすすめの本の紹介カードや感想文を発表する。 ・グループで役割を決めて昔話などを発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	音楽「楽器を演奏しよう」
2学期	11月	11	（知及技）言葉には、意味による語句のまとまりがあり、助詞の使い方によって意味が変わることを知ることができる。（小3段階 ア(エオ)） （思判表力）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をすることができる。（小2段階 Cウ） （学・人）舞台祭を振り返り、関係する言葉を学ぼうとしている。	（知・技）言葉には、意味による語句のまとまりがあり、助詞の使い方によって意味が変わることを知ろうとしている。（思・判・表）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしようとしている。（主学）舞台祭を振り返り、関係する言葉を学ぼうとしている。	・舞台祭に向けて ・何のしるし？何のイラスト？ ・舞台祭を終えて	・様々なカードを用いて、マッチングをしたり、類義語や対義語を学ぶ。 ・助詞カードを用いて、文章を組み立てる。 ・学校内外にある様々なマークやイラストを見て、名称や役割等を考える。	外国語「食べ物」
	12月	9	（知及技）物や状況に応じた様々なオノマトベを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しむことができる。（小3段階 ア(ウエ)） （思判表力）新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。（中1段階 Bアイウ） （学・人）状況や目的に適したオノマトベや言葉を考えようとする態度を育む。	（知・技）物や状況に応じた様々なオノマトベを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 （思・判・表）新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くこととしている。（主学）状況や目的に適したオノマトベや言葉を考えようとしている。	・季節の便り（年賀状） ・いろいろな音（動物の鳴き声、オノマトベなど） P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・人や動物が発する音（擬声語）や事物や事象の音（擬音語）、状態や身振りなどの様子を例えた音（擬態語）を考える。	美術「はがきにかこう」 社会「地域について調べよう」

3 学 期	1月	9	(知及技) 十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3段階 ウ(ア)) (思判表力) 校内実習や愛汗祭について、感想を抱き、発表しようとしている。(小2段階Aウ)) (学・人) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとする態度を養う。	(知・技) 十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 校内実習や愛汗祭について、感想を抱き、発表しようとしている。 (主学) 身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとしている。	・新年の挨拶、お正月の風習いろいろ ・今年の干支(十二支) ・愛汗祭の感想を発表しよう。	・新年の挨拶を交わし、抱負を発表する。お正月としての風習や食べもの、遊びなどを挙げ、日本の伝統文化に触れる。 ・十二支に関する絵本や歌を見聞きし、今年の干支や自身の干支を知る。 ・愛汗祭を振り返り、感想を発表する。	美術「正月遊び」 外国語「日本のお正月と外国のお正月」
	2月	9	(知及技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方ができる。(中1段階 ア(ウエ)) (思判表力) 学んだことを使って、短文を書こうとしている。(小3段階Bイ) (学・人) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方をしようとしている。 (思・判・表) 学んだ言葉を使って、文を書こうとしている。 (主学) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとしている。	・愛汗祭(校内実習)の思い出 ・身近にある物の名前や数え方⑤ P28「なまえなあんだ⑤」 P52「あつめてみよう⑤」	・校内実習の取り組みや愛汗祭で頑張ったことや感想をまとめて発表する。 ・身近にある物の名前や数え方を生かして、短文を作ることができる。	職業・家庭「ものづくり2」
	3月	9	(知及技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えることができる。(中1段階 ア(ウエカ) ウ(ウ)) (思判表力) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話することができる。(小2段階 Aイウオ Bアイウ) (学・人) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えようとしている。 (思・判・表) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話そうとしている。 (主学) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・お礼の言葉(カード作り) ・1年の振り返りをしよう P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ ・カード	・誰に、どのようなお礼の手紙を書くのか考える。 ・1年間に取り組んだプリントを中心に振り返り学習をする。 ・写真等を参考に活動内容を再確認し、感想をまとめ発表する。	音楽「卒業の歌」
留意点 引継等							
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	3学年 24名		国語☆☆☆☆／しまくとうば読本

年間目標		(知及技) 知識及び技能	日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。(中2段階)				
		(思考力) 思考力、判断力、表現力等	日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(中2段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(中2段階)				
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	8	(知及技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使うことができる。(中2段階ア(ウ)) (思考力)人の話などを聞きながら、聞いたことをメモしたり、分からないことを聞き返したりすることができる。(中2段階 Aア) (学・人)相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとする意識を養う。	(知・技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使おうとしている。 (思・判・表)人の話などを聞きながら、聞いたことをメモしたり、分からないことを聞き返そうとしている。 (主学)相手に伝えようと丁寧に話したり、他者の発表を集中して聞こうとしている。	・自己紹介をしよう ・新しい仲間、教師と学ぼう ・教科名の読み書き ・詩「われは草なり」 ・図書室オリエンテーション 教科書☆☆☆☆本 P2「われは草なり」 P8「校外学習に行く前に確認しよう」	・目標、自己紹介を書いて、皆の前で発表する。 ・教師の名前をひらがな、カタカナ、漢字で読み書きをする。 ・教科名を漢字で読み書きする。 ・「新入生歓迎会」についてメモをとる。	外国語「英語で自己紹介をしよう」
	5月	9	(知及技)修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。(中2段階 ア(オ)) (思考力)相手や目的に応じて自分の伝えたいことを明確にし、順序を考え話し方を工夫することができる。(中2段階 アイウエ Bアイウ) (学・人)相手に分かりやすく、話し方を工夫して伝えようとする態度を育む。	(知・技)修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解しようとしている。 (思・判・表)相手や目的に応じて自分の伝えたいことを明確にし、順序を考え話し方を工夫しようとしている。 (主学)相手に分かりやすく、話し方を工夫して伝えようとしている。	・ゴールデンウィークの思い出を書こう ・「みんなに伝えよう」 ・「〇〇をしようかいをしよう」 ・文法と表現「言葉のページ(修飾語、指示語、敬体と常体)」 P10～17「みんなに伝えよう」「学校しようかいをしよう」 P24「言葉のページ」	・体験したことなどについて、5W1Hを踏まえ、感想を交えて表現する。 ・学校生活で伝えたいことを考え、分かりやすく伝える。 ・修飾語、指示語(こそあど言葉)、敬体と常体などをプリント学習で学び、ロールプレイで定着を図る。	外国語「自分の誕生日を伝えたり、相手の誕生日をたずねたりしよう」
	6月	10	(知及技)情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読ができる。(中2段階 ア(イ、キ)) (思考力)様々な文章を読み、情景や場面、登場人物の心情などを想像することができる。(中2段階 Cアイウエ) (学・人)平和に関する詩や本を読み、平和について考える意識を育む。	(知・技)情景や場面などに応じて、話す速さや発音、声の大きさに気を付けて音読しようとしている。 (思・判・表)平和に関する詩や本を読み、感想を書いたり発表したりしようとしている。 (主学)平和に関する詩や本を読み、平和について考えようとしている。	・平和について考えよう ・いろいろな文章 P28～35「日本を旅して」「最後のうそ」「うなぎ屋」	・平和に関する詩や本を読み、戦争がなぜいけないのか、平和とは何かについて考える。平和メッセージを書く。 ・紹介文や小話などを読み、感じたことを発表し合う。	社会「慰霊の日」 音楽「平和学習の歌」 美術「平和への願い」
	7月	9	(知及技)筆遣いの基本を学び、文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。(中2段階 ウ(ウ)) (思考力)暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。(中2段階 Bアイウ) (学・人)筆の持ち方や姿勢を正し、漢字や仮名の大きさ、配列を意識して書く態度を養う。	(知・技)筆遣いの基本を学び、文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くようとしている。 (思・判・表)暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くようとしている。 (主学)筆の持ち方や姿勢を正し、漢字や仮名の大きさ、配列を意識して書くようとしている。	・季節の挨拶(暑中見舞い) ・書道に親しもう ・Ⅰ学期の振り返り	・基本的な葉書の書き方を学び、挨拶文を考え、丁寧に仕上げる。完成した葉書を発表する。 ・書きたい文字を選び、文字のバランスや運筆に留意して書き、作品を仕上げる。 ・Ⅰ学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	社会「郵便局へ行く」

2 学 期	9月	11	(知及技)幅広く読書に親しむことで、様々なジャンルの本があることを知る。(中2段階 ウ(エ)) (思判表力)おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめて発表する。(中2段階 Bアイウ Cアエ) (学・人)身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとする態度を育む。	(知・技)幅広く読書に親しもうとしている。 (思・判・表)おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめて発表しようとしている。 (主学)身近な島くとうばを学び、日常生活で活用しようとしている。	・夏休みの思い出と宿題の見直し ・読書月間の取り組み ・しまくとうばに親しもう P46～47「学校の図書館で本を探そう」 しまくとうば読本	・夏休みの思い出(日記等)を発表する。間違った問題を見直し復習する。 ・図書室のマナーを守り読書を楽しむ。本の紹介カードを作成したり、感想文を書いて発表する。 ・「しまくとうば読本」を活用し、沖縄方言で挨拶、身近な方言に触れる。「うちなー方言の動画」などを見て方言に親しむ。	美術「地域の伝統工芸」
	10月	11	(知及技)生活に身近なことをわざを知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。(中2段階 ア(エ) ウ(イ)) (思判表力)言葉のリズムや表現技法に留意し、自身の思いを詩歌で表現することができる。(中2 B アイオ) (学・人)詩歌のイメージを膨らませたり、作者の思いを感じ取ろうとする態度を育む。	(知・技)生活に身近なことをわざを知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。 (思・判・表)字数や表現技法に留意し、自身の思いを詩歌で表現しようとしている。 (主学)詩歌のイメージを膨らませたり、作者の思いを感じ取ろうとしている。	・舞台祭に向けて ・俳句、短歌、詩 ・ことわざ、標語 P36～43「俳句、短歌、詩」「けいとうの花」「私と小鳥と鈴と」 P44「ことわざ、標語」	・言葉のイメージをふくらませ、定型や自由な言葉のリズムを味わう。	音楽「お話の音楽を作ろう」
	11月	11	(知及技)説明文や随筆の内容を意識しながら、発音や声量を調節して音読することができる。(中2段階 ア(アイキ)) (思判表力)舞台祭での取り組みで感じたこと、頑張ったことを書き、発表することができる。(中2段階 Aイウエ Bアイウオ) (学・人)読んで感じたことや分かったことを伝え合おうとする意識を持つ。	(知・技)説明文や随筆の内容を意識しながら、発音や声量を調節して音読しようとしている。 (思・判・表)舞台祭での取り組みで感じたこと、頑張ったことをまとめて伝えようとしている。 (主学)読んで感じたことや分かったことを伝え合おうとしている。	・舞台祭に向けて ・文章読解(説明文、随筆) P48～57「ニホンザルの子供」「スーパーマーケットの見学」 P62「修学旅行の思い出」	・説明文や随筆を読み、筆者が伝えたいことは何かを話し合い発表する。 ・舞台祭を振り返り、頑張ったことや楽しかったことなどをまとめて、発表する。	音楽「みんなて歌おうⅡ」「合奏をしようⅠ」
	12月	9	(知及技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。(中2段階 ウ(ウ)) (思判表力)見聞きしたことや経験したことを書き、発表することができる。(中2段階 Aイウエ Bアイウオ) (学・人)2学期の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くようとしている。 (思・判・表)見聞きしたことや経験したことをまとめて伝えようとしている。 (主学)2学期の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・季節の便り(年賀状) ・「修学旅行の思い出」 ・十二支 ・2学期の振り返り P62～65「修学旅行の思い出」	・年賀状書の書き方の基本や新年の挨拶、十二支について学び、お世話になった方へ年賀状を書く。 ・修学旅行を振り返り、見学地の様子や楽しかったことなどをまとめて、発表する。 ・2学期の学習内容を振り返り、楽しかったことや反省を発表する。	美術「新年にむけて」

3 学 期	1月	9	(知及技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。(中2段階ウ(ウ)) (思判表力)校内実習や愛汗祭の活動を振り返り、感想を書き発表することができる。(中2段階アイウエ B アイエオ) (学・人)新年の挨拶やカルタ遊びを通して正月の雰囲気を味わう。	(知・技)文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くようとしている。 (思・判・表)校内実習や愛汗祭の活動を振り返り、感想を書き発表しようとしている。 (主学)新年の挨拶やカルタ遊びを通して正月の雰囲気を味わおうとしている。	・新年の挨拶、正月遊びいろいろ ・書道(書き初め) ・愛汗祭の感想 ・文章読解(偉人伝等) P104「言葉のページ」	・新年の挨拶を交わし抱負を発表することで気持ちを引き締める。日本の伝統文化としての正月遊びを挙げ、カルタを楽しむ。 ・書き初めにふさわしい文字を選び、基本的な筆遣いに留意して書く。 ・愛汗祭の取り組みを振り返り、感想をまとめ発表する。 ・偉人伝等を読み、読んでわかったことや感想を伝え合う。	外国語「日本のお正月と外国のお正月」
	2月	9	(知及技)拗音や促音の表記、助詞や接続語などの使い方を振り返り、正しく使うことができる。(中2段階ア(ウエ)) (思判表力)読んで感じたことや分かったことを伝え合うことができる。(中2段階 B オ C オ) (学・人)文字の形や筆順、大きさなどを意識して丁寧に書く態度を養う。	(知・技)拗音や促音の表記、助詞や接続語などの使い方を振り返り、正しく使おうとしている。 (思・判・表)読んで感じたことや分かったことを伝え合おうとしている。 (主学)文字の形や筆順、大きさなどを意識して丁寧に書くようとしている。	・高校入試に向けて(文章表現) ・「言葉のページ」(文字の形、筆順、大きさ) ・文章読解(偉人伝、物語) P66～97「医学の発展につくした日本人」「おわら風の盆に行って」「泣いた赤おに」「ぼくのカレーライス」「山ねおことわり」 P104「言葉のページ」	・高等部入試の過去の問題を解き、長音、拗音、促音、撥音、助詞、接続詞、敬語などの使い方を復習する。面接に向けて丁寧な話し言葉を練習する。 ・物語を読み、読んでわかったことや感想を伝え合う。 ・きれいな文字を書くために文字の形を整えて書く。	職業・家庭「情報機器の活用」
	3月	9	(知及技)お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に表現することができる。(中2段階ア(ウエカ)ウ(ウ)) (思判表力)面接の場を想定し、自分が伝えたいことを明確に、丁寧な言葉遣いで伝えることができる。(中2段階 A イウエ) (学・人)1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技)お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に表現しようとしている。 (思・判・表)面接の場を想定し、自分が伝えたいことを明確に、丁寧な言葉遣いで伝えようとしている。 (主学)1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・高校入試に向けて(面接) ・感謝の手紙を書こう ・1年の振り返りをしよう P108「お礼の手紙を書こう」	・面接に向けて丁寧な話し言葉や受け答えの練習をする。 ・お世話になった先生に感謝の言葉を添えて手紙を書く。 ・1年間の学習を振り返り、文法や文章表現、文章読解などの復習をする。感想を書いて発表する。	音楽「卒業の歌」 美術「卒業に向けて(共同制作)」
留意点 引継等							
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・単元テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3/105	3学年 8名		こくご☆☆

年間目標		（知及技）知識及び技能		日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。（小3段階）			
		（思判表力）思考力、判断力、表現力等		日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（小3段階）			
		（学・人）学びに向かう力、人間性		言葉が持つ良さに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。（小3段階）			
学期	月	時数	単元・題材目標 （三つの柱）	単元・題材の評価規準 （三観点）	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	8	（知及技）長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方や書き方ができる。（中Ⅰ段階ア（ウ）） （思判表力）自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりすることができる。（小2段階 B（イ）） （学・人）音声や身振りなどで相手に伝えようしたり、他者の発表を集中して聞こうとする態度を養う。	（知・技）長音、拗音、促音、撥音の読み方や書き方を知り、正しく使おうとしている。 （思・判・表）自分の名前や物の名前を平仮名や片仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 （主学）音声や身振りなどで相手に伝えようしたり、他者の発表を集中して聞こうとしている。	・自己紹介 ・先生の名前や教科の名前 ・身近にある物の名前や数え方① ・学校生活や係活動 教科書☆ P6「がっこうせいかつ」P28「なまえなあんだ①」P52「あつめてみよう①」P48「かいてみよう」P76「ひらがなをよんでみよう」P92「ひらがなをかいてみよう」 ・なまえ、じこしょうかい	・自己紹介カードを作成し発表する。 ・先生の名前や教科名を読み書きする。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。 ・学校生活のイラストを見て何をしているのか、何の係活動しているのか考える。	外国語「友達に英語で自己紹介しよう」
	5月	9	（知及技）出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。（小3段階 ウ（イ）） （思判表力）見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くことができる。（小3段階 B（ウ）） （学・人）思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	（知・技）出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 （思・判・表）見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 （主学）思いや考えを身振りや音声などで伝えたり受け止めたりしようとしている。	・ゴールデンウィークの思い出 ・お母さんありがとう ・何しているのかな ・身近にある物の名前や数え方② P12「おはなしできるかな」P28「なまえなあんだ②」P52「あつめてみよう②」P92「ひらがなをかいてみよう」 ・えにっき ・カード	・いつ、だれと、どこに行ったかを振り返り、楽しかったことなどをプリントにまとめて発表する。 ・母の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・イラストを見て何をしているのか考えて発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	理科「身の回りの生物」 美術「語彙を広げよう～画材や色の名前」
	6月	10	（知及技）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（小3段階 ウ（ウ）） （思判表力）イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現することができる。（小3段階 A（ウ）） （学・人）平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考える意識を育む。	（知・技）姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くようとしている。 （思・判・表）イラストを見て場面を想像したり、経験したことを思い浮かべ感情を表現しようとしている。 （主学）平和に関する本を読んだり、詩を書くことで、平和について考えようとしている。	・どんな気持ちかな ・お父さんありがとう ・平和について考えよう 「慰霊の日に向けて」 「平和って何？」 P20「どんなきもちかな」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・カード	・言葉やイラストを見てどんな気持ちか考える。 ・父の日に向けて感謝の気持ちを込めたカードを作成する。 ・平和に関する絵本や動画を見聞きし、感想をまとめて発表する。平和メッセージを書く。	社会「平和学習」 音楽「平和の歌」 美術「平和を感じよう」
	7月	9	（知及技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。（小3段階 ア（イウカ）） （思判表力）暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。（中Ⅰ段階 B（アイウ）） （学・人）相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くこととする態度を養う。	（知・技）姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むようとしている。 （思・判・表）暑中見舞いで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くようとしている。 （主学）相手の健康を気遣い暑中見舞い葉書を書くようとしている。	・季節の便り（暑中見舞い） ・身近にある物の名前や数え方③P28「なまえなあんだ③」P52「あつめてみよう③」 P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	美術「はがきにかこう」 社会「路線バスを活用しよう」

2 学 期	9月	11	(知及技)読書や読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つことができる。(小3段階 ウ(エ)) (思判表力)おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表する。(小3段階 Bアイウ Cアエ) (学・人)身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うおうとする態度を育む。	(知・技)読書や読み聞かせなどに親しむことで、いろいろな本に興味を持つようとしている。 (思・判・表)おすすめ本の内容を簡潔に整理し、感想をまとめ発表しようとしている。 (主学)身近な島くとうばを学び、簡単な島くとうばを使うおうとしている。	・夏休みの思い出 ・おすすめ本の紹介をしよう① (読書月間の取り組み) ・しまくとうばに親しもう	・夏休みの思い出(日記等)を発表する。 ・図書室のマナーを守りいろいろな本に触れる。 本の紹介カードを作成したり感想文を書く。 ・沖縄方言で挨拶や身近な方言に触れる。「うちなーかぞえた」を聞いて生き物の名称や数え方を学ぶ。	社会「沖縄の伝統文化を体験しよう」 美術「沖縄の伝統文化を学ぼう」
	10月	11	(知及技)姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むことができる。(小3段階 ア(イウカ)) (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(小3段階 Cアイエ) (学・人)身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとする態度を養う。	(知・技)姿勢や口形に気を付けて、平仮名や片仮名で書かれた文字や文章を読むようとしている。 (思・判・表)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学)身の回りにある物の名前や数え方を考え、発表したり文字で書き表そうとしている。	・舞台祭に向けて ・おすすめの本を紹介しよう② ・お話発表 ・身近にある物の名前や数え方④ P24「おおきなだいこん」 P70「うさぎとかめ」 P28「なまえなあんだ④」 P52「あつめてみよう④」	・おすすめの本の紹介カードや感想文を発表する。 ・グループで役割を決めて昔話などを発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	音楽「楽器を演奏しよう」
	11月	11	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあり、助詞の使い方で意味が変わることを知ることができる。(小3段階 ア(エオ)) (思判表力)舞台祭の取り組みを振り返り、がんばったことを伝えようとしている。(小2段階 Cウ) (学・人)身の周りにある表示が何を意味するかを伝えようとする態度を育む。	(知・技)言葉には、意味による語句のまとまりがあり、助詞の使い方で意味が変わることを知ろうとしている。 (思・判・表)舞台祭の取り組みを振り返り、頑張ったことを伝えようとしている。 (主学)身の周りにある表示が何を意味するかを伝えようとしている。	・舞台祭に向けて ・舞台祭の感想を発表しよう。 ・何のしるし?何のイラスト? P46「しるしをみつけよう」	・学校内外にある様々なマークやイラストを見て、名称や役割等を考える。 ・舞台祭を振り返り、感想を発表する。	外国語「食べ物」 全教科「舞台祭に向けて」
	12月	9	(知及技)物や状況に応じた様々なオノマトペを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3段階 ア(ウエ)) (思判表力)新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書くことができる。(中1段階 Bアイウ) (主学)修学旅行を振り返り、感想を発表しようとしている。	(知・技)物や状況に応じた様々なオノマトペを知り、使うことで言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表)新年の挨拶などで伝えたいことを考え、内容をまとめて書こうとしている。 (主学)修学旅行を振り返り、感想を発表しようとしている。	・季節の便り(年賀状) ・修学旅行の思い出	・葉書の基本的な書き方を学び暑中見舞い葉書を作成する。 ・修学旅行を振り返り、感想を書いたり、伝えたりしようとしている。	美術「はがきにかこう」 社会「地域について調べよう」
	1月	9	(知及技)十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(小3段階 ウ(ア)) (思判表力)見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くことができる。(小3段階 Bウ) (主学)修学旅行を振り返り、感想を発表しようとしている。	(知・技)十二支に関する絵本や歌を見聞きして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表)見聞きたり、経験したことを思い浮かべ、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 (主学)修学旅行を振り返り、感想を発表しようとしている。	・新年の挨拶、お正月の風習いろいろ ・今年の干支(十二支) ・修学旅行の感想を書こう。	・新年の挨拶を交わし、抱負を発表する。お正月としての風習や食べもの、遊びなどを挙げ、日本の伝統文化に触れる。 ・十二支に関する絵本や歌を見聞きし、今年の干支や自身の干支を知る。 ・修学旅行の思い出を振り返り、短文で書く。	美術「正月遊び」 外国語「日本のお正月と外国のお正月」

3 学 期	2月	9	(知及技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方ができる。(中Ⅰ段階 ア(ウエ)) (思判表力) 校内実習や愛汗祭の感想をまとめて発表することができる。(中Ⅰ段階 Aイウ Bアイウエ) (学・人) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活で使う助数詞について学び、正しい使い方をしようとしている。 (思・判・表) 校内実習や愛汗祭の感想をまとめて発表しようとしている。 (主学) 愛汗祭や校内実習で学んだことを振り返ろうとしている。	・愛汗祭(校内実習)の思い出 ・身近にある物の名前や数え方⑤ P28「なまえなあんだ⑤」 P52「あつめてみよう⑤」	・校内実習の取り組みや愛汗祭で頑張ったことや感想をまとめ発表する。 ・身近にある物の名前や数え方をひらがなやカタカナなどで読み書きする。	職業・家庭「ものづくり2」
	3月	9	(知及技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えることができる。(中Ⅰ段階 ア(ウエカ)ウ(ウ)) (思判表力) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話すことができる。(小2段階 Aイウオ Bアイウ) (学・人) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとする態度を養う。	(知・技) お世話になった人に感謝の言葉を丁寧に伝えようとしている。 (思・判・表) 1年間の学習を振り返り、平仮名や片仮名で書いたり、姿勢や声の大きさに気を付けて話そうとしている。 (主学) 1年間の学習活動を踏まえ、自身の成長や反省を振り返ろうとしている。	・お礼の言葉(カード作り) ・1年の振り返りをしよう P92「ひらがなをかいてみよう」 ・てがみ ・カード	・誰に、どのようなお礼の手紙を書くのか考える。 ・1年間に取り組んだプリントを中心に振り返り学習をする。 ・写真等を参考に活動内容を再確認し、感想をまとめ発表する。	音楽「卒業の歌」
留意点 引継等							
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況					